

経営のヒントとなる言葉

三浦雄一郎

「目標さえあれば、明るくなる。そこに...」

Index

三浦雄一郎（プロスキーヤー）

三浦雄一郎（プロスキーヤー）

「目標さえあれば、明るくなる。そこに根拠とか、理屈といったものなどないのです」（*）

出所：「私はなぜ80歳でエベレストを目指すのか」（小学館）

冒頭の言葉は、

「自身の中に明確な目標があれば、いかなるときも前向きなモチベーションを持ち続け、目標に向かって進むことができる」

ということを表しています。

プロスキーヤーとしての三浦氏の成績は華々しいものです。1964年にはイタリアで開催されたスキー競技「キロメートルランセ」に日本人として初めて参加し、当時の世界スピード記録を樹立しました。さらに、1966年には富士山直滑降を、1970年にはエベレスト・サウスコルから世界最高地点スキー滑降を、そして1985年には世界七大陸最高峰からのスキー滑降を達成しました。

これらの偉業は世界中から大きな注目を集め、三浦氏は大いに称賛されましたが、このことが三浦氏にある変化をもたらします。大きな目標を達成し続けた三浦氏は、次の目標を見失ってしまい、次第に冒険から遠ざかっていったのです。三浦氏は不摂生な生活を送るようになり、体重は増え、狭心症や糖尿病を発症するようになりました。こうした生活が続いていたあるとき、三浦氏はふと家族に目を向けました。三浦氏の家族は、父親である三浦敬三（みうらけいぞう。以下「敬三」）氏、そして次男である三浦豪太（みうらこうた。以下「豪太」）氏ともにプロスキーヤーという、いわゆる「スキー一家」です。

サンプルレポート

本レポートは、サクセスネットで公開している
ビジネスレポートの一部を公開したサンプルです。
サクセスネットサイトにログインした後、全文を
閲覧することができます。